

わけもん きばっちょっど



問 今回は、高鍋高校ラグビー部に取材に行ってきたっチャが。

答 名門高鍋高校ラグビー部に女子部員が3人おるとよ。全日本選抜選手もおるか、今後の活躍が楽しみやっチャが。

未来に届け 第7回

問 みんなで、応援してくりね。

答 じゃーね。みんなで応援すっど…!!

※選手の一言

最初は 平田愛実さん（3年生）

小学校4年生の時にラグビーをはじめ、ラグビーの面白さを実感しました。中学校時代は柔道をしながら、宮崎レディースに所属してラグビーを続け、名門高鍋高校で技術を磨き、現在、7s日本代表メンバーに選ばれ頑張っています。

つぎは 平岡莉奈さん（1年生）

中学の時からラグビーを始め、県内で強豪の高鍋高校ラグビー部に入部し、自分のスキルを磨き、将来は女子ラグビー選手になり世界で戦いたいです。

そして 甲斐純菜さん

（1年生）

中学校の時に友達から誘われラグビーを始め、国体やコベルコカップ等の選抜選手に選ばれ頑張ってきました。高鍋高校ラグビー部でも自分の能力を向上するため日々頑張ります。

最後に、檜室英幸監督より

「謙虚、感謝、人づくり」をチームの理念とし、ラグビーを通じて人間力を高めることができるよう日々取り組んでいます。いつの日か、教え子の中から日本代表選手が生まれると嬉しいですね。



写真左から 檜室監督、平田愛実さん、甲斐純菜さん、平岡莉奈さん



男子部員と共に

編集後記

平成30年12月から早3回の議会を経験致しました。行政用語の難しさに四苦八苦しながらも、先輩議員や事務局の職員の皆さんに支えられて頑張ってきました。議会だよりの広報委員会に属し、議会をいかに詳しく、いかに易しく伝えるかをテーマに委員全員が知恵をしぼりながら、生みの苦しみを味わっております。自分自身に伝えるように最高の言葉を選ぶ作業を通じて、町民とのつながりを探しています。たとえ一年生議員であっても、発する言葉に全責任を持たなければならぬと痛感しております。この作業が一番勉強になるから頑張れと背中を押してくださった先輩の言葉に感謝です。行政調査、県内新人議員研修会、様々な派遣等新しい経験が目白押しです。「頑張る」の一言だけです。ありがとうございます。

杉尾浩一・記

（表紙写真）

街並みを彩るヤマボウシ